愛知県生活基盤施設耐震化等補助金チェックシート

計画の名称:	津島市水道事業耐震化計画
事業者名:	津島市

チェック欄

I 目標の妥当性		
①上位計画等との整合性		
	第4次津島市総合計画また津島市水道ビジョン及び津島市地域防災計画で掲げられる施策と整合し、かつ第3次あいち地震対策アクションプランに掲げる目標である「重要給水施設へ至る配水管の耐震化」とも整合している。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)		
	当地域は、大規模地震対策特別措置法に定める地震防災対策強化地域、東南海・南海地震対策特別措置法の地震防災対策推進地域に指定されており、管路耐震化は喫緊の課題である。また40年以上経過した老朽管が全体管路の29%ほど占めるなど早急な改善が必要となる。	○
II 計画の効果・効率性		
①整備計画の目標と定量的指標の整合性		
	目標に掲げている重要給水施設管路の耐震化について、PI(業務指数)である重要給水施設管路耐震化適合率、管路の耐震化率や、管路の耐震適合率、法定耐用年数超過管路率を定量的指標としており、目標との整合は図られている。	○
②定量的指標の明瞭性		
	定量的指標は、PI(業務指数)を用いており、広く住民にわかりやすいものとしている。	○
③目標と事業内容の整合性		
	事業内容は津島市地域防災計画に位置づけられる避難所、病院、災害拠点施設などの給水優先度が高い施設へ配水する管路を耐震化するものである。また40年以上経過した老朽管を対象とし、更新することで耐震化にするものである。	○
④事業の効果の見込みの妥当性		
	最新の耐震性能を有する管材で整備することにより、被災した場合でも管路被害件数が減少できることにより応急復旧が容易となり、かつ応急給水対策に係る負担が軽減でき、総じて水道水の安定供給が可能となる。	○
III 計画の実現可能性		
①円滑な事業執行の環境(用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等)		
	水道事業の現状や事業内容、事業の必要性について、水道法施行規則第17条の2に基づき広報やホームページ等を活用して住民に情報提供を行い理解を求めている。	○
②地元の機運(当該事業に係る要望等)		
	津島市水道ビジョン策定の際、利用者アンケート調査を行った結果では、水道について重要なものは、「安全な水道」という回答が最も多く、優先して取り組むべき事業としては、「事故や地震に強い水道施設の整備」、「渇水時においても安定した水の供給」を要望する割合が高い結果であった。また、平成26年度第2回津島市議会定例会にて、基幹となる水道施設の耐震化が求められている。	○